

# 白鷺電気工業DX計画

白鷺電気工業株式会社  
2023年11月

## 企業使命感

# くらしと産業の礎をひらく パートナーシステムの白鷺電気工業

## 存続6ヶ条

1. 安全      私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. 協調      私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. 技術      私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. 啓発      私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日 今日よりも明日と自分をみがきます。
5. システム      私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行ないます。
6. 業績      私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げるにより信用・業績を高めます。

## INDEX

1. トップメッセージ
2. DX計画全体像
3. DXビジョン
4. これまでの取組内容
5. これからの戦略
6. 組織・人材育成・IT環境
7. 成果指標

白鷺電気工業株式会社は、昭和22年2月の創業以来、電気工事会社として九州電力様と共に安全で安定した電気をお客様にお届けすることを通して、熊本を中心に九州の電気エネルギーの「くらしと産業の礎」をひらいてまいりました。

近年、当社を取り巻く環境は、就労人口が減少する中での世界的半導体企業の進出に伴う人材獲得競争や建設資材の高騰など、激しく変化しています。そのような中、デジタル技術は飛躍的な発展を遂げ、その技術の活用による生産性の向上やデータの利活用が課題を解決する重要な要素となってきています。

このような環境の変化においても、これまで以上の価値をお客様に提供できますように当社では「白鷺電気工業DX計画」を策定しました。

今後は、この「白鷺電気工業DX計画」を社員一丸となって着実に推進するとともに、進捗状況等をSNSやホームページ等により定期的に発信していきたいと考えております。

代表取締役社長 沼田 幸広

企業使命感

くらしと産業の礎をひらく  
パートナーシステムの白鷺電気工業

DXビジョン

デジタル技術の活用により、新たな価値をお客様に提供するとともに  
幸福度NO.1企業を目指します

実現の  
方向性・戦略

### 1 デジタル技術の積極的な活用で社内業務を変革

戦  
略

- 1-1 顧客管理システムの徹底活用
- 1-2 クラウドの更なる活用
- 1-3 システムロードマップの制定

### 2 DX推進の内製化

戦  
略

- 2-1 顧客管理システムのエンジニア育成
- 2-2 デジタルリテラシーの底上げ
- 2-3 グループ企業への展開

### 3 データ分析による新しい価値創造

戦  
略

- 3-1 お客様情報の分析・社員の声の分析
- 3-2 SNSを活用したマーケティング
- 3-3 経営情報のダッシュボード化

環境整備

(1) 組織

(2) 人材育成

(3) IT環境

## デジタル技術の活用により、新たな価値をお客様に提供するとともに 幸福度NO.1企業を目指します

- お客様への新たな価値 …… 安全の価値、納期の価値、コストの価値、品質の価値、環境の価値、情報共有の価値
- 社員幸福度の向上 …… デジタル技術で実現する働き方改革、新たな取組へのチャレンジ支援

### ～DXビジョン実現の方向性～

#### 1 デジタル技術の積極的な活用で社内業務を変革

デジタル技術の積極的な活用により生産性向上を図ることで、お客様と接する時間を拡大するとともに、社員の新たな取組へのチャレンジを支援します。

#### 2 DX推進の内製化

システム開発を含む自社のDX推進を内製化するとともに、得られたノウハウをグループ企業にも展開していきます。

#### 3 データ分析による新しい価値創造

蓄積されたお客様データや業務データを分析することで、新しい価値を創造します。

デジタルツールの活用による生産性向上および業務効率化に取り組んできました。

No	デジタルツール	効果
1	顧客管理システム	・ 売上・受注状況、みんなの声、みんなの知識、インフォメーション等の社内情報の見える化
2	グループウェア	・ 業務環境のクラウド移行による時間と場所にとらわれない働く環境の提供
3	シンクライアント	・ セキュリティ強化と本社フリーアドレス
4	名刺管理システム	・ 名刺情報のデジタル化による情報共有高度化と管理コスト削減
5	社用車管理システム	・ 車両運転に伴うアルコールチェック厳格化と予約管理の簡素化
6	経費管理システム	・ 経理業務の効率化とペーパーレス化
7	施工管理システム	・ 現場における図面管理や写真管理等のデジタル化
8	勤怠管理システム	・ 勤怠管理の高度化と効率化

## 1 デジタル技術の積極的な活用で社内業務を変革

### 1-1 顧客管理システムの徹底活用

- 顧客管理システム中心の業務運営を定着させ、生産性向上とデータ蓄積を実現します。
- 研修動画やEラーニングを使ったコンテンツを作成するとともに、顧客管理システム活用の好事例を定期的に発信することで、活用ノウハウを全社で共有します。
- アクセスログを定期的に分析することで、活用状況を定量的に把握し、必要に応じて更なる活用に向けた施策を展開します。
- 生産性向上により確保した時間は、お客様対応時間の拡大や社員の新たな取組に活用していきます。

### 1-2 クラウドの更なる活用

- クラウド利用に必要なコストや安全性をしっかり検証し、効果的なクラウド活用を推進します。社員にとって働きやすく、安全な業務環境を構築します。
- クラウドを活用することで自然災害発生時の事業継続性を強化し、迅速に業務を再開することでお客様への影響を極小化します。

### 1-3 システムロードマップの制定

- 個別最適なシステム導入から脱却し、当社にとって全体最適なシステム導入を実現するために、システムロードマップを制定します。
- システムロードマップに基づき投資判断を行うことで、効果的な投資を実現します。
- 既存システムの費用対効果を検証し、必要に応じてシステムの廃止も行います。

## 2 | DX推進の内製化

### 2-1 顧客管理システムのエンジニア育成

- 顧客管理システムのエンジニアを育成することで、開発の内製化を図り、迅速なシステム開発と安定した保守・運用を実現とします。
- 人的リソースも限られていることから、内製化が必要な領域を定義し、ITベンダーをはじめとした外部機関と適宜連携・協業しながら、効果的なエンジニア育成を行います。

### 2-2 デジタルリテラシーの底上げ

- 社員がデジタルの基礎知識を習得するための支援を行い、全社的なデジタルリテラシーの底上げを図ります。
- 外部組織とも連携しながら、社員が気軽にデジタル技術を学べるコンテンツを提供していきます。
- システム開発を伴うプロジェクトでは、全社員を対象にメンバを募集することで、隠れたデジタル人材を発掘するとともに、開発ノウハウを組織として蓄積していきます。

### 2-3 グループ企業への展開

- 内製化で得られた知見やノウハウはグループ企業にも横展開をすることで、グループ一体となったDX推進を行います。
- グループ企業との情報連携にもクラウドをはじめとしたデジタル技術を活用することで、情報共有の高度化と効率化を実現します。

## 3 | データ分析による新しい価値創造

### 3-1 お客様情報の分析・社員の声の分析

- 顧客管理システムに蓄積されたお客様情報を分析し、「良かった点」と「悪かった点」を抽出して、次の案件にフィードバックすることで、お客様満足度の向上につなげるとともに、新たな商品・サービスの開発に活用します。
- 顧客管理システムに蓄積された社員の「みんなの声」を分析し、職場環境を継続的に改善することで社員幸福度の向上を図ります。

### 3-2 SNSを活用したマーケティング

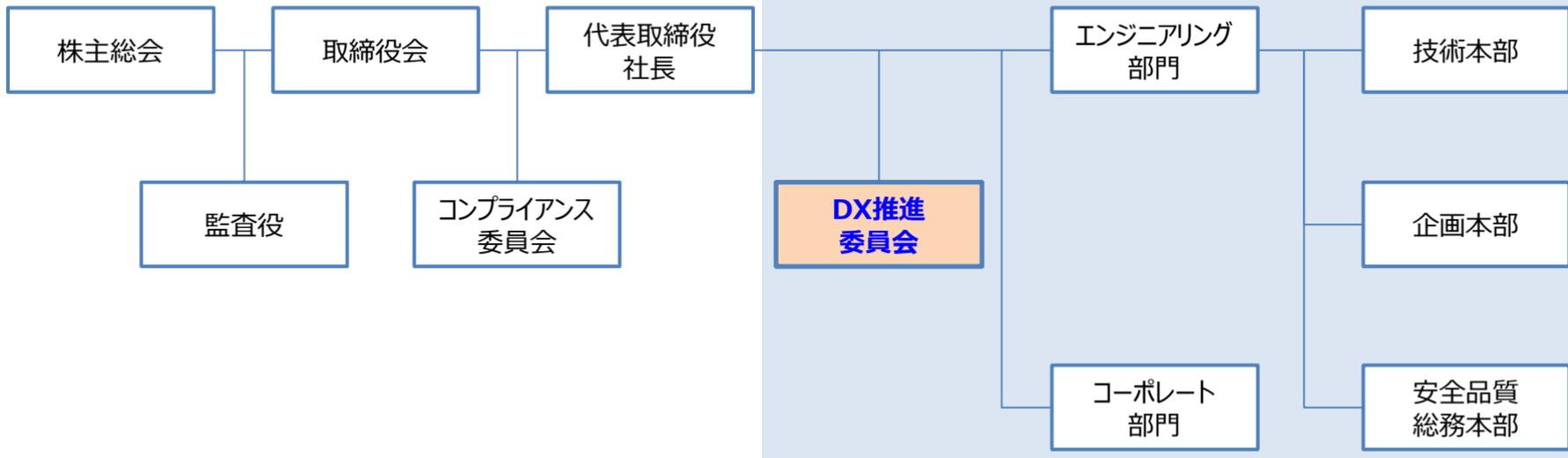
- 当社コンシューマー向けオンラインショップ「白鷺電気工業」と「しらさぎファーム」の情報発信にSNSを活用することで、効率的なマーケティングを行い、社名をはじめとしてハイブリッドファンや黒にんにく商品等の認知度向上を図ります。
- お客様からのフィードバックをリアルタイムに収集することで、迅速な商品・サービス開発に活用するとともに、嗜好に基づいたターゲット広告を行い、効果的なマーケティングを実現します。

### 3-3 経営情報のダッシュボード化

- 受注情報や財務情報等、経営判断に必要となる情報をダッシュボード化(見える化)することで、情報共有を高度化し、迅速な意思決定を実現します。
- ダッシュボード化することで、資料作成にかかる時間を大幅に短縮し、生産性向上を実現します。

## (1) 組織

- 代表取締役直下に設置している「DX推進委員会」で、定期的にDX計画の進捗を確認するとともに、最新のデジタルテクノロジーについて情報収集を行い、業務への活用に向けた議論を行います。
- ITベンダーをはじめとした外部機関と連携・協業することで、外部のノウハウを社内に取り込みます。



人材育成とIT環境を整備して、戦略を着実に実行していきます。

### (2) 人材育成

- 自社で作成している研修動画の拡充とEラーニングコンテンツの整備
- セキュリティ意識の更なる醸成に向けた社内勉強会の開催
- ITパスポート、ベンダー系資格をはじめとしたデジタル関連資格の取得推進と資格手当の拡大
- 現場代理人の働き方改革、育児や介護休業中の社員の就労環境構築を目指した建設ディレクターの育成
- マインドセット転換に向けた外部講師による定期的なDX勉強会の開催や各種セミナーへの参加

### (3) IT環境

- システムロードマップに則した計画的なシステム導入
- データ分析に必要となるソフトウェアの選定と導入
- 新たなサイバー攻撃手法の調査と各システムの定期的なセキュリティ点検

## 7 成果指標

次の成果指標で戦略の進捗状況を管理していきます。

## 1 デジタル技術の積極的な活用で社内業務を変革

1-1 顧客管理システムの徹底活用

1-2 クラウドの更なる活用

1-3 システムロードマップの制定

## 2 DX推進の内製化

2-1 顧客管理システムのエンジニア育成

2-2 デジタルリテラシーの底上げ

2-3 グループ企業への展開

## 3 データ分析による新しい価値創造

3-1 お客様情報の分析・社員の声の分析

3-2 SNSを活用したマーケティング

3-3 経営情報のダッシュボード化

## 2025年までの成果指標

顧客管理システム利用率100%

新たなクラウドシステムの導入2件

システムロードマップ制定完了

顧客管理システムエンジニアを含むIT担当者 3名

ITパスポート、ベンダー系資格 70名

グループ企業への展開完了 1社

新サービス2件／改善件数10件

SNSからのフィードバック分析開始

ダッシュボードの利用・運用の定着